

○ 精米安定供給のための物流実態把握及び改善に関する実証事業

【令和4年度予算額 18（－）百万円】

<対策のポイント>

ウィズコロナ・ポストコロナ時代における精米の安定的な供給体制を確保するため、**精米物流の実態把握及び共同配送などの物流合理化に資する実証等**の取組を支援します。

<事業目標>

- 物流最適化モデルの普及による輸送効率の改善（10%改善 [令和9年度まで]）

<事業の内容>

1. 精米物流の実態把握及び改善に係る実証

精米物流の合理化を進め、安定供給体制を持続的なものとするため、市場ニーズに合わせて多様化し、新型コロナウイルス感染症の拡大により変化した**精米流通ルートや配送慣行の実態・課題の把握、物流最適化モデルの実証の取組**を支援します。

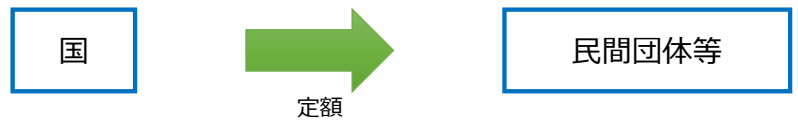
- ① 精米のEC流通の実態把握
- ② 精米配送の最適化阻害要因の検証
- ③ 物流最適化モデルに係る実証（共同配送など）

2. 物流最適化モデルの普及に向けた環境整備

物流最適化モデルの普及に向けた環境を整備するため、1.で実施した実態把握及び実証を踏まえ、**精米物流に関わる民間企業等による物流最適化の取組を後押しする手引きの作成等**を支援します。

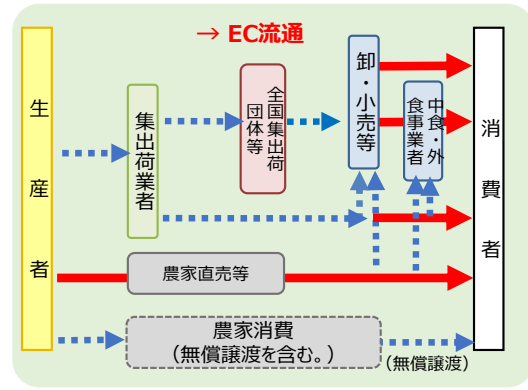
- ① 物流最適化手引きの作成
- ② 古米の品質や利用に関する検証

<事業の流れ>

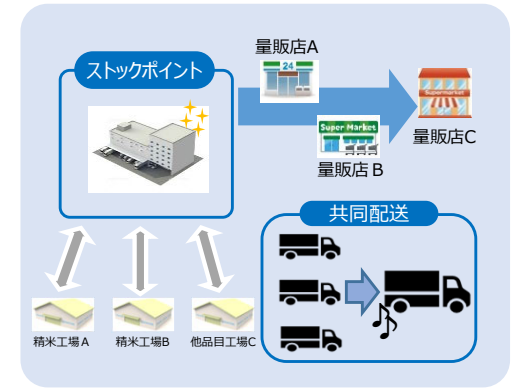


<事業イメージ>

<<精米物流の実態把握及び改善に係る実証事業>>



✓ EC流通の実態把握



- ✓ 物流最適化阻害要因の検証
- ✓ 物流最適化モデルに係る実証

<<物流最適化モデルの普及に向けた環境整備>>

手引きによる物流最適化モデルの普及展開 等



【お問い合わせ先】 農産局企画課 (03-6738-8964)